

OSAKA-TEMMABASHI

ROTARY Club Weekly Bulletin



第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階

例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪

会長 高橋 俊起 幹事 仲西 良浩 ツグ・アヅマ・広報委員長 西田 勤

事務局電話 (06) 6344-0120 FAX (06) 6344-0126 ホテル電話 (06) 6347-7111

E-mail: temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

IMAGINE
ROTARY

2022-2023年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

MARCH 9 2023 NO. 2609

水と衛生月間

☆☆ 今日のプログラム ☆☆	次々週 (3月23日) のお知らせ
1) 例会 (2609回)	1) 例会 (2610回)
2) ソング 友と呼べるのは	2) ソング 日も風も星も
3) 卓話 「ロータリー雑感」 国際ロータリー第2660地区 IM第6組ガバナー補佐 若宮 邦弘 様	3) 卓話 「ZEB建物 (脱炭素社会に向け 取り組み) について」 吉村 圭太会員
4) ガバナー補佐訪問懇談会	4) 第4回被選理事会

☆☆ 若宮 邦弘ガバナー補佐訪問を心から歓迎申し上げます ☆☆

☆☆ 3月度の在籍表彰 ☆☆

44ヵ年 井戸 幹雄 35ヵ年 南川 和茂
21ヵ年 末澤 正大

☆☆ 3月度の結婚記念日 ☆☆

小寺 寿矢 郡 悦清 荒木 幾夫
石田 道夫 在本 茂 川本 浩
(以上敬称略)

** 先週の例会報告 **

☆☆ 会長報告 ☆☆

今年は通年とくらべ寒い冬となりましたが、日増しに暖かくなってきており日も随分と長くなって来ました。朝晩はまだ寒い日も続きますが体調などはくずされておられませんでしょうか。

本日は2022-23年度、天満橋RACと2回目の合同例会となります。設営して頂きました、RACの彌富幹事、当クラブの仲西幹事、例会の設営、又色々な手配等、有難う御座いました。

先々週の例会以降ですが、例会当日は、延原ガバナーエレクトが在籍している大阪大淀ロータリークラブの50周年式典・祝賀会に中島ガバナー補佐エレクトと参加して参りました。ザ・リッツカールトンのグランドボールルームにて開催さ

れました。シンガポール・インドネシア・台湾などの姉妹クラブからも数多く参加されておりいよいよ海外からのゲストの往来も出来るようになったのだと実感いたしました。

さすがリッツカールトンと感心したのが、何時ものホテルの宴会料理と違い非常に美味しく飲料も趣向を凝らしており非常に良かったと思います。又、今期は色々なクラブの周年に参加させて頂いておりますが設営等、色々勉強になりました。

19日(土)は天満橋RACの第一例会に仲西幹事と参加して来ました。第一例会は「皆でミュージカルを見に行こう」と言うお題で、劇団四季のミュージカルに行きました。私は恥ずかしながらこの年になる迄、行った事が無かったので良い経験をさせて頂きました。用事があった為、第一部で退出したのですが次回機会があれば是非最後まで見て行きたいと思っております。

週が変わり翌21日(火)は大阪市青少年活動協会のボランティアスタッフの卒業式が有りました。天満橋ロータリークラブとして1968年よりの継続事業である青年功績賞授与式に坂口社会奉仕委員長・仲西幹事と行ってまいりました。卒業生の多くが教育者となられるようですが、コロ

☆☆ 出席報告 ☆☆ ()内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	42名	3月2日の出席率	51.61%
国内ゲスト	1名	会員出席	16名(31名)	5週間前(2月2日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	18名	メイクアップを含む出席率	78.95%
外国ゲスト	0名	会員欠席	15名	メイクアップ実施会員	2名(欠席者10名)

ナ禍に於いて色々な制限の中、自分の時間をさいて少年達へ行った奉仕活動に対して敬意を表し祝辞を述べて参りました。

25日(土)は、米山奨学生の修了式・歓送会に中島カウンセラーと出席して来ました。当クラブからはゴ・リチャード・エイトウ君が終了となります。2660地区では31名の奨学生がおり、エジプト・イギリス・フランス・タイ・ベトナム・インドネシア・中国その他、国際色豊かであり改めて我がクラブで米山奨学生の受け入れを行っている意義を感じ取る事が出来ました。

26日(日)これはロータリーとは関係ないのですが、大阪マラソンの沿道警備ボランティアに不動産協会より協力のお願ひがあり参加して来ました。折返し地点にいたのですが、当クラブの小池会員が出走者の中頃でしょうか、頑張って走っておられましたので声援を送りました。

最後になりますが、私の会長年度も後4ヵ月となりました。遡る事、3年間はコロナ禍による休会が多くありましたが、今期に関しては1度も休会せずすんでおります。現状のメンバー数で運営して行く為には分かっていることながら会員の増強と退会防止です。前回も述べましたが少し門戸を広げ伝統的にいなかった女性会員も積極的に勧誘して行こうと思っておりますので何卒皆様のご協力をお願いいたします。

☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①3月のロータリーレートが1ドル=136円に変更になっております。(2月1ドル=130円)
- ②No.3・4・8テーブル情報集会のご案内を本日お配りしております。
- ③次々週3月16日(木)は定款により休会にさせていただきます。なお、事務局もお休みさせていただきます。

☆☆ にこにこ箱 ☆☆ 敬称を略す

本日、天満橋RACとの合同例会です。宜しく
 お願いします。 高橋 俊起

91歳の誕生日を迎えました。皆さんよろしくお
 願ひいたします 坂本 一民

合同例会を祝し！ 福原 哲晃

令和5年3月2日 合計金 15,000円

累計金 1,503,000円

☆☆ 先週(3月2日)の卓話 ☆☆

「関西圏の言語景観から見る多文化共生社会」

米山奨学生 ゴリチャード エイトウ 様

国際奉仕委員会

今回の卓話では、言語景観にみる日本社会、特に関西圏の多言語化と多文化共生の実態を考えてみました。

日本で働き、生活する外国人やインバウンド観光客の増加・多様化にともない、日本社会の「多言語化」を耳にすることが多くなっています。言語景観についてですが、文字の言語景観と「音」の言語景観という二種類に分けられています。関西における、日本語と英語以外の言語景観は主に、中国、韓国、そして他の東南アジア系の住民による、外国人学校、コミュニティーつまりチャイナタウンやコリアンタウンと呼ばれる場所とラジオや新聞で形成されています。関西の代表的な外国人学校には大阪中華学校、神戸中華同文学校とコリア国際学園があります。そして、神戸南京町、生野コリアタウンを中心として関西の中国系と朝鮮・韓国系住民のコミュニティーが形成されました。

最後に、エフエムわいわい(FMY)というオンラインラジオを紹介しました。FMYは阪神・淡路大震災で被災した神戸市で、震災直後から居住者に在日外国人が多い長田区を中心として、多言語放送を行ったコミュニティ放送局です。放送局コンセプトは、多文化・多民族共生のまちづくりです。長田区を中心とした地域情報を提供するとともに、在日外国人との交流をテーマにした様々な番組編成を展開します。さらに、毎年のFMYは長田区における鉄人広場で大震災の追悼会を行って、中継をしています。追悼会を開催することを通じて、この世を去った、様々な背景を持つ人々の魂が安らかになることを祈るとともに、今後再び災害が起こった際に、被害を小さくするために国籍や民族などの異なる人々ができることを考える機会になっているのではないかと考えています。

☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

胡瓜昆布 蛸 蜆 烏賊 沖漬け 酢味噌掛け
 筍 鶏肉の揚げ煮 ポン酢風味
 的鯛のソテー 和風桜・白ワインソース
 筍御飯 香の物 赤味噌仕立て
 冷やし甘酒 寒天 小豆 チェリー

☆☆ 大阪天満橋RC・大阪天満橋RAC合同例会 ☆☆

3月2日(木) 18時30分より、今期2回目の大阪天満橋ロータリークラブと大阪天満橋ロータリーアクトクラブの合同例会が大阪キャッスルホテル3階・錦城閣にて開催されました。当クラブメンバー16人、米山奨学生1人、RAC3人、事務局員2人、合計22人で開催されました。

始めに国歌とロータリーアクトソングを斉唱し、両会長挨拶と幹事報告があり、その後、ロータリークラブ側の卓話者として米山奨学生のゴ・リチャード・エイトウ君が「関西圏の言語景観から見る多文化共生社会」について映像を用いて語られました。

続いて天満橋RACのメインプログラムとして、高級な食材と普通の食材の食べ飲みを各テーブルから選抜しクイズ形で式行いました。ワイン・コーラ・チーズ・チョコレート・オレンジジュースなどを食べ飲み比べました。高橋会長より高級な1998年のビンテージワインが協賛されたり、笑いや歓声が多いとても楽しい大阪天満橋RACのメインプログラムでした。人数が少ないRACでしたがRACメンバー総出で楽しく設営して頂きました。

また、大阪天満橋の当日参加されたメンバーの全皆さまから大阪天満橋RACにニコニコをされました。ご参加されましたメンバーに厚く感謝いたします。



☆☆青年功績賞授与式☆☆

3月4日（土）15時半から、大阪府青少年活動財団のユースリーダー卒業式が開催されました。高橋会長より22名の卒業生に対して、青年功績賞と記念品の贈呈と激励の言葉が贈られました。卒業後、学生たちは教員や福祉関係への就職される方が多いということで、野外学校を通じての経験が次世代育成の循環となっている素晴らしい事業かと思いました。

学生リーダーの言葉で印象に残ったのは、質問されたらその解答を伝えるのではなく、解答につながるヒントを与え、新しいやり方を見出していくという事でした。これはどんな組織にでも役立つ、当たり前といえば当たり前の事かもしれませんが、見失いがちになっている学びでありました。

財団のお話では、青少年育成事業にかかる予算が縮小され、さらにコロナ禍での制限もあって困難が続いているが、利用者の需要は青少年の野外学校に限らず、社会人の企業研修まで幅広く高まっているようです。

青少年奉仕委員会

